

緊急事態舞台芸術ネットワークは、コロナ禍の2020年5月設立（その後、2021年9月に一般社団法人化）した新しい団体です。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大をうけ、舞台芸術業界が危機的状況から脱却し、安全な状況で再開され再生していくために、互いに連携協力し、情報を共有し合うことを目的として発足しました。下記の2つのミッションのもと国内の舞台芸術の振興を図ることを目指して活動しています。

## 「舞台芸術に関わる団体、個人への支援」 「舞台芸術に関わる情報の収集と共有、必要な提言」

恒常的な舞台芸術関係者の相談窓口として下記の3つの支援センターを運営し、業界全体の共益となる様々な活動を行っています。

### ①助っ人センター（2020年5月～）

→補助金や支援策に関する何でも相談窓口として開設。ネットワーク参加団体のみならず広く舞台芸術関係者のサポートを行っています。

### ②J-LOD（3）サポートセンター（2022年5月～）

→J-LOD事務局VIPOより委託を受けてJPASN参加団体による補助金申請と確定検査のサポートを行っています。

### ③舞台芸術専門医療センター【Cue】（2022年7月～）

→医療法人と提携し舞台芸術に特化したアドバイスやサポートを行っています。

新型コロナが蔓延し始めるまで、いくつかの統計上においても明らかなように日本の舞台芸術は順調に市場拡大を遂げていました。その後、コロナ禍により未曾有の危機にさらされましたが、この間「緊急事態舞台芸術ネットワーク」として舞台芸術界が史上はじめてジャンルを超えて大同団結をし、国内での情報共有、共同での政府交渉、国際的に打って出る環境整備を行っております。「芸術文化で躍動する日本」「日本の舞台芸術産業のグローバル化」という言う言葉をどのように実現するのか、今後とも、業界内部の情報共有を怠らず、「アートの創造、アートの享受、アートの活用、アートの人材育成」といった好循環を生み出していきたいと日夜励んでおります。

【団体情報】  
(2022年8月1日現在)

正会員：213団体  
賛助会員：35団体  
総計：248団体

## (1) ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた中長期的な文化芸術の振興方策

### ① ジャパンコンテンツを体現した「舞台芸術のアーティスト」を大事にする施策の実行

…テンポラリーな仕事への失業保険、広く職務中の災害への労災適用などを実現できるような施策と、適正な契約実務の普及により、「権利処理の簡便化」、「職務中災害への補償」を確立

### ② 舞台芸術事業への参加促進

- ・芸術文化鑑賞クーポンの発行
- ・マイナンバーカード連携によるアート活動限定のポイント付与

### ③ DXによる収益力強化

- ・舞台収録映像などのデジタル化と活用の大規模な振興策

・デジタルアーカイブと権利処理データベースの構築  
舞台芸術の映像資料化により、今までライブ上演を届けられなかったところに、舞台芸術映像を届ける。その後、その映像を、国内・国際の映像市場でマルチユースできるよう仕掛けを考える。

- ・6ヶ国語（英語、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、韓国語）字幕付与によるグローバル展開  
→日本語字幕をつけることでの、福祉利用の促進。

### ④ 舞台芸術界の産業化の促進、人材育成制度を整備

- ・舞台芸術に関する専門学校、大学の学部、大学院レベルでの人材育成
- ・舞台芸術の映像アーカイブ化

新たな映像ビジネスへの参入を促進することで、舞台芸術業界としての安定した新人募集を行えるようにするなどのリクルート対策

- ・業界と教育機関の間でのインターン制度の確立

## (2) 文化と経済の好循環を創造するための方策

### ① 首都圏または政令指定都市における舞台芸術公演のロングラン化、ならびに数ヶ月規模での長期公演を行える道を開く

- ・劇場利用の際の制度または設置条例の変更を促す。
- ・都内の既存の劇場、中小ホールを使ったロングラン公演の仕掛けの共同研究や実験的な取り組みの実施

### ② 舞台芸術の映像化の促進による舞台芸術の収益力強化（8Kなど高画質・高音質での収録、配信、上映などの道をひらく）

★参考：ウィンドウモデル/映像事業  
舞台芸術の映像化の促進、そしてそのマルチユースによる経済効果の最大化

→将来的な新たな経済、文化と経済の好循環を目指す

### ③ 国際的な舞台芸術祭の展開

秋の文化庁芸術祭の時期に合わせて、アジアの舞台芸術界のハブになれるような巨大な国際芸術祭を行う。国内外から注目を集める一流の演劇・舞踊など舞台芸術作品の上演、一般の方が気軽に劇場に訪れ参加できるプログラムを秋の東京に集めることで「芸術の秋」を盛り上げる。

### ④ 舞台芸術市場の拡大策を展開

- ・羽田空港におけるデジタルサイネージの活用
- ・博物館、美術館への大学生無料招待を芸術施設全体へ拡大

## (3) 文化芸術行政の効果的な推進の在り方

### ① 「文化芸術省（仮称）」の創設

→省庁連携による横断的な施策の計画と実施

### ② 先進国として相応しい文化予算の確保

### ③ 業界横断的な基礎データの定点調査の継続実施

…これまで舞台芸術産業としてのサプライサイドに焦点を当てた定量調査はなかった。

→産業基礎データとして政府の支援を

### ④ 舞台芸術の8Kなど高画質・高音質による映像資料化

### ⑤ 小中学校のIT化促進

…映像コンテンツ使用が日常的に行えるようにすることで、小中学生に映像で、歌舞伎からミュージカルまで幅広く舞台芸術体験が可能に

### ⑥ オープンな議論・協議の場

- ・芸術文化振興基金の在り方の再考
- ・科研費のようなピアレビューの導入  
→オープンな議論・協議の場となるシンポジウムの実施